

**令和8年度スタート**

入学式・対面式を無事終えて、3学年が全員揃っての新年度が始まりました。鹿児島中央高校進路指導部では、毎月の「進路指導室だより」をとおして、みなさんに進路に関する様々な情報を提供していきます。また、不定期ではありますが、各学年が必要とする進路情報も学校・学年のクラスルームで流しますので、こちらも是非、時間があるときに目をとおして下さい。

さて、みなさんは「最高学府」という言葉をご存じでしょうか?最高学府とはある地域や分野で最も高い水準の教育・研究を行う学校や教育機関のことで、鹿児島県では「鹿児島大学」がそれに当たります。今回は、その鹿児島大学の学長が述べた入学式での告示を紹介したいと思います。理由は先ほど述べたように、鹿児島県の最高学府であることと、本校の卒業生が最も多く進学している大学だからです。告示は鹿児島大学のホームページに掲載されていますので、興味のある人は是非、覗いてみて下さい。さらに自分が希望する大学がイメージできている人は、その大学の学長の入学式のメッセージ(大学によっては学部長のメッセージがある大学もあります。)に目をとおしておくことをお勧めします。志望理由を書く際の大きなヒントがそこには沢山あるからです。少し前置きが長くなりました。以下一部を引用します。

さて、皆さんの中には鹿児島大学が第一志望ではなかった方もおられるかも知れません。しかし、そのことを理由に大学生活を空虚に過ごして欲しくないと思います。もし、何かに未練があったら、過去を振り返る気持ちが強いのなら、今日で終わりにしてもらいたいと切に願います。悔しい思い、落ち込んだ経験は、何度でも挑戦したり、切り替えたりできる力を身につけることにつながります。自分の心の中に未練などがある方は、それを「バネ」にして欲しいからです。ずっと思い通りに、人生を歩める人はそう多くいません。今日から始まる大学生活が、とても大切な時間なのです。しっかり勉強して、卒業するときは顔を上げ、自信をもって卒業して欲しいと思っています。

このメッセージには、中央高校生にも当てはまる要素があると思います。高校入試で志望を変更した、あるいはクラス替えで自分が思うクラスと違った。現時点で納得いかない部分もあるかも知れませんが、少なくともその決定には自分の意思も反映されていたはずで、そう

であるならば新しい環境で、自分の決定が正しかったことを証明するための毎日を、過ごした方が絶対いいに決まっています。終わったことをあれこれ後悔する時間で、自分を一步押し出せるからです。さらに一部引用します。

皆さん一人ひとり、自分と同じ人間は誰ひとりいません。その違った部分について、より尊重するためには、相手をより理解しようと努力し、また、自分のことを理解してもらおうとする努力が必要です。異なる人と書く「異人」は、過去には「外国人」をさす差別的な言葉として使われた時代もありますが、国際社会を生きる皆さんには、人と人の繋がりとという観点で、「いじん」という時には、偉大の「偉」、優れたという意味の「偉人」という言葉を使ってもらいたいと思います。

ご存じのとおり、中央高校のある加治屋町は薩摩の偉人を数多く輩出した場所です。この場所で学ぶことを自分への使命だと思い、お互い「和して同ずる」ことなく共励切磋していきましょう。

< R7 鹿児島中央 主な国公立4年制大学合格実績 (既卒含) >

大 学 名	R7	R6	R5
東 北 大			1
筑 波 大	1		1
東 京 大			1
東 京 学 芸 大	1		1
京 都 大			1
神 戸 大	1		1
広 島 大	7	4	4
九 州 大	5	5	2
九 州 工 業 大	6	4	4
福 岡 教 育 大	5	4	4
熊 本 大	11	15	10
鹿 児 島 大	100	112	125
国 立 大 学 合 格 者 数	160	169	198
大 阪 公 立 大	1	1	2
下 関 市 立 大	4	11	3
北 九 州 市 立 大	2	6	5
長 崎 県 立 大	4	1	5
熊 本 県 立 大	3	4	4
公 立 大 学 合 格 者 数	30	41	30

The sky is the limit

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい環境に期待と不安の入り混じった気持ちで、この高校生活をスタートさせていることと思います。高校入学は一つのゴールのように感じるかもしれませんが、実はここからが将来の進路を形づくる**本当のスタート**です。3年間は長いようであつという間です。少しずつ構いませんので、自分の将来について考える意識を持っていきましょう。

本校では、毎年多くの先輩が大学へ進学し、昨年度はそのうち約170名が国公立大学へ合格しています。これは決して特別な一部の人だけの結果ではなく、日々の積み重ねを大切にしてきた多くの先輩たちの努力の成果です。みなさんの周りには、同じ目標に向かって努力できる環境が整っています。しかし、その環境を生かすかどうかは自分自身にかかっています。

では、高校1年生の今、何を大切にすればよいのでしょうか。まず何よりも大切なのは、**日々**の**授業**です。高校の学習内容は中学校よりも深く、進むスピードも速くなります。ここで基礎をしっかりと身につけておくことが、2年生・3年生での大きな力になります。定期考査はその理解度を確認する大切な機会です。一つ一つのテストを「その場しのぎ」で終わらせるのではなく、「**次につながる学び**」にしていきましょう。

また、**苦手科目をそのままにしない**ことも重要です。分からないところを放置してしまうと、後になって取り戻すのが大変になります。早めに先生に質問したり、友人と教え合ったりしながら、小さな疑問をその都度解決していく習慣を身につけてください。実際に、「もっと1年生のうちに基礎を固めておけばよかった」と振り返る先輩は少なくありません。

さらに、**学習習慣を確立する**ことも大きなポイントです。毎日少しずつでも机に向かう時間を作ることが、やがて大きな差になります。部活動や学校行事も大切にしながら、時間の使い方を工夫していきましょう。特にスマートフォンとの付き合い方は、自分でコントロールする意識が必要です。「**なんとなく過ごす時間**」を減らすことが、将来の選択肢を広げることにつながります。

進路について、「まだやりたいことが分からない」と感じている人もいるかもしれません。それは決して悪いことではありません。ただし、何も考えなくてよいというわけではありません。日々の授業や読書、さまざまな体験を通して、自分の興味や関心を少しずつ広げていくことが大切です。これから先、文理選択などの重要な決断も控えています。今の積み重ねが、その選択を支える材料になります。

高校生活は、**一日一日の積み重ね**です。大きなことを一度に成し遂げる必要はありません。まずは目の前のことにしっかり取り組むこと、その積み重ねが将来の進路につながっていきます。みなさんのこれからの成長を期待しています。一歩ずつ、自分の可能性を広げていきましょう。